

息子の誕生の日

昨日はさいたま市のすかべでもひょう  
がふたはひょうけいさくでも氷がたまり

だ 東がきずくそう天

同じく大管は二十六度だつ天

あついのか寒いのかわかう寒い日が

くやかえしおとずれる

今の季節は何をの

と空にむかうてきいてやうが

どのよりにくもつたすそ 仕方ない

お天気のことは空すかかていい

今大印方のは

我が子の誕生日は とうりだ

自分が年をとるのにはやえろい

我が子か年をとるのには 厚うとくいがある

いのすくも青年であるべさ天

と心の奥底で思っている

誕生日と言っても何かとあるわけだ

せいの顔を見たう おめでとら 天だ

もや少すれかある私も子供の誕生日は

死を予でわすれろことけない

その日はいつまでも待たない日だ

最近 カレシの顔を 見ると 知る所らうけれど

赤く襦袢はあつていろ

そうだが 息子の誕生日も祝日にあつたらう

カレシが 製作者へ言つて おかあさんへ

おめでとう

誕生日はいつか祝日だ

心から 予がほしいほどあつたらう

あつてほしい とおぼつていろ

2022  
6/5